

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(119) 議事録

日 時	平成 29 年 7 月 18 日 (火) 18:30~20:30
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 今野義正、阿部ひで、(事務局長) 今野慎介、南部比呂志、庄司則雄、宇佐美久夫 (事務局) コンサルタント 3 名
オブザーバー	仙台高専 3 名 (坂口先生、学生 2 名) 市職員 復興区画整理課 2 名、生活支援課 2 名、傍聴 2 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報受発信について 2. 今後の進め方について 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 117, 118 回世話役会議事録案 資料-1 スケジュール案

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 117、8 回世話役会議事録は一部修正し、確定した。
- ・復興公営住宅の第 1 期集合住宅の鍵引き渡し式があり、組織設立に向けて代表者が決まったとの報告があった。

1. 今後の進め方について

- ・集会所のワークショップを通じて県道東側の地域コミュニティ作りに取り組んでいくことに対して、まち協の役割などを話し合った。住民が不安に思ったり、検討に取り残される住民を拾い上げて、より良い地域づくりに貢献することがまち協のやることではないかとの話があった。
- ・視察の候補日は、11月2週目以降で、視察予定の東松島市あおい地区側の都合のいい日時とすることとなった。

2. その他

- ・パンフレットが完成し、配布したり、常備したりするところを話し合い、集会所や市役所、公民館等に配置することとした。ホルダー型パンフレットは会員に次回のニュースレター発行時に送付することとした。
- ・閑上地区の居住状況マップを作成したらどうかという話があった。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は 8 月 8 日 (火) とする。

次回予定:世話役会(120)8/8(火)18:30~

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第 117, 8 回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第 117, 8 回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

<7/15(土) 鍵引渡し式>

- 管理組合の必要性や共益費の徴収ルールを説明し、組合設立にむけて、5 名の役員候補を指名し、承認をうけた。(市)
- 8 月中の入居が落ち着きしだい、設立準備会を開催し、8 月中に管理組合を設立予定とした。(市)
- C 棟 1 階の多目的ルームの常設サロンを設置することとなった。15 日に説明した。(市)
- ・5 名の候補者を教えて欲しい。
- 式のと看、入居者全員に紹介しているのて、個人名は紹介できるが、住所は個人情報関係で難しい。(市)

<名簿登録・提案箱の状況>

- ・特になし

<復興マラソン>

- ・パナソニックで集めたボランティア参加について、まち協からの要請ということでよいか？
- ・問題ない。

1. 今後の進め方について

- ・スケジュールには、まち協の世話役の関わり方を一緒に整理しておいたほうが良い。
- ・閑上の公民館の計画内容は、どうなったのか？
- まだ決まてはいない。今年度中にしたい。(市)
- ・まち協のからみ方を整理が必要か
- ・ミズベリングも 7 月 19 日に事務局会議がある。
- ・次回の総会があるとすると、地域コミュニティの話をどうするか、まち協のアウトプットであるが、スケジュールに何があるか見えない。今年度の検討成果を提示できないような気がする。
- ・集会所のワークショップは、どこで開催するのか？
- 仮設閑上公民館で開催する。(市)
- ・集合住宅の C 棟集会所でやるなどできないのか？
- コアメンバーでやるので、多くの人を集めることはしない。(市)
- ・住民意向の反映について、配慮が必要である。
- ・使い方が決まていないことから、まち協での意見を反映してもらえるようにしていかないといけないのではないか？
- ・まち協の存在意義などを踏まえると、いろいろなものに取り組んでいかないといけないと思う。
- 集会所のワークショップのコアメンバーにまち協のメンバーは参加しているか？(仙台高専)
- 入っている。(事務局)

- ・ワークショップの取り組み方について、見直し案なども必要ではないか、そういう意見を言うことも必要では？
- ・より多くの住民で検討してもらったほうが良いのではないか？
- ・集合住宅の集会所についてもその使い勝手を検討させるべきだ。
- 集会所のワークショップは、だれがファシリをするのか？（仙台高専）
- パシフィックコンサルタンがファシリをやる予定。（市）
- 集合住宅の準備組合の体制を作るうえで、困る部分があるのでは？（仙台高専）
- ・まち協の関わり方を主体的に行うことは難しいので、やり方をさぐりたい。
- ・どこまでまち協メンバーが関わるかだろう。
- ・集会所のワークショップは、利用する現地の人をベースで、市が集めているから、その流れは問題ない。とすると、住民が主体的に検討できず、市と協議調整ができなくなるような場面が生じたら助けるといふことかどうかだ。
- ・現実的に要請がないのでは？
- ・周辺的一般住民の人が問題視したときに、まちづくり協議会が入るべきかとも思う。
- ・コアメンバーの案内があくまでも個人名なので、世話役が入っていても、まち協としての取り組みにはなりにくい。
- ・攻め方がかわってきたような気がする。まち協も離れていくべきなのか、離れていいのか、そういう時期に来ているようだ。
- ・実際、しっかりと行政主導でやってもらえるならありがたい、でも、まち協の存在意義が薄れることも危惧する。
- ・住民に寄り添う方法としてなにがいいのか考えるべきだろう。
- ・そういう意味で、西団地の人が集まる場所の確保などの議論が必要ではないか？
- ・学校の空き教室の利用など、西団地の人との交流場所の確保は課題だ。
- ・集合住宅は、共益費の徴収というのが基本なので、優先的になっているイメージ、西団地、第**2**期の戸建公営住宅などについて、自治会についてどうするか触れていない。
- ・連携が取れていないような気がするので、何を優先的にすべきか
- ・生活支援課に対して、検討されていない部分に対して、整理してお伺いを立てるべきか
- ・市に説明してもらおうなどして、
- ・**7月27日**に支援グループに情報共有する会がある。生活支援課が主催
- ・閑上に入っていこうとする団体を目的の共有化。
- ・まち協を活用しきれないという感じだ。
- ・区長として、情報が落ちてこない。東の公営住宅に絡めない。西団地、**2**期戸建、移転先団地の部分について、協力がいいのではないかと思う。
- ・任せておくのもいいのでは？
- ・美田園北の経験を閑上に生かしたほうがよいと思う。
- ・西団地の人たちについて、どうするかを説明するかどうか
- ・西団地は置き去り感がある。
- ・説明することが必要であるということを市に伝えるか？
- ・次回以降に具体的な話をするべきだと思う。
- コアメンバーだけで、情報をださなくならないか？（仙台高専）
- まち協のメンバー、ファシリもやるのでそこは情報提供できる。（事務局）
- ・残される部分の進め方について、議論していくべきだろう。

→多様な人が参加しているので、それが存在意義だ。持っている情報を住民目線で議論してもらうことでよいはずだ。行政の情報も、住民側の情報も得ており、深い情報を持っている組織なので、どっちにむかって話をしていくのが重要だ。まち協が住民に言うこともあるし、行政にやって欲しいということもいえるだろう。情報の伝達機能を担うということもある。住民の当事者としてやること、まち協としてやるべきことの仕分けが必要。住民が届いていない情報を整理して、行政の情報周知への取り組みを活性化していくことが優先的な話だろう。まち協として動ける準備はしておくような話だろう。(事務局)

- ・集合住宅の経験談を集合住宅の住民自治に活かしてもらえれば良いと思う。

→まち協として、何年後に地域コミュニティがどういう風になっていたらいいのか、連合町内会、まち協メンバーへ役員を招聘するとか？キーパーソンの巻き込み方などを明確にしたほうが良いのではないかと思う。(事務局)

- ・進んでいることを見守りながら、まち協として救える部分を検討すべきだろう。

- ・次回だけで検討はできないので、継続的に検討していく。

<視察の候補日>

- ・今回は東松島のあおい地区への予定。

- ・11月の2週目以降で、先方の都合の良い日とする。

- ・視察の目的などは？

- ・集会所、自治会などの運営方法などを聞きたい。公営住宅の組織構成がどうなっているのかも聞きたい。

→あおい地区は、連合町内会的らしい。その運営方法を聞くことを目的としたほうが良い。(事務局)

- ・組織ならびに運営について学びたい。

- ・会費の運営や使い方なども聞きたい。

- ・徴収方法についても聞きたい。

→依頼文を作ってメールでまわす。(事務局)

2. その他

<パンフレットについて>

- ・全住民に渡したいというつもりだったはず・

- ・上町町内会会議でも配布したい。

- ・復興部にも100部おいてもらったほうが良い。

- ・市民ホールもありえる。

- ・区長が配布することも可能だろう。

- ・上町町内会、閑上公民館も常備すべきだろう。

- ・丘区は、区長会や絆実行委員会で配布することは可能だ。

- ・PTA、県、駅なども常備できるといい。

→他都市の協議会へも配布できる。(事務局)

→次回のニュースレターの発送時に、ホルダー型パンフレットを会員に発送する。(事務局)

<市の情報提供>

- ・できればやはり時間をとるべきだ
- ・できれば担当課は出ていて欲しい。中座する場合はそのようの話をすべき。

<その他>

- ・住んでいる状況なども把握できるといい。**MAP**で整理したらどうか？
- ・個人情報の関係もあるので、できる範囲でまとめるべきだろう。
- ・地域コミュニティ作りが進む中で、まち協が考える理想像を持って、残されている地域自治組
成の方向性を示していくような、そんなストーリーなども示していきたい。

以上

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は8月8日（火）とする。

次回予定:世話役会(120)8/8(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室